

広報

さよう

9

Vol.216
令和5年(2023)

人と地域 行政をつなぐ まちの総合情報誌

Sayo Town Public Relations



特集

空き家バンクで、

民家を活かす

【特集】



■空き家バンク利用登録者の状況 (R5.8 現在)

年代別	購入・賃貸の希望	登録者の住所
20～40代	42%	購入希望 44%
50～60代	43%	賃貸希望 15%
70以上	15%	どちらでも 31%
		無回答 10%
		佐用町内 19%
		兵庫県内 32%
		大阪府 23%
		その他 26%

若い世代の希望者が
増えています

■空き家バンクを利用して住宅を購入・賃貸した世帯

(世帯数)

	町外から移住		小計	町内転居		小計	合計
	購入	賃貸		購入	賃貸		
H28	2	4	6	1	1	2	8
H29	10	1	11	2	1	3	14
H30	7	1	8	5	3	8	16
R1	3	3	6	3	0	3	9
R2	7	2	9	2	0	2	11
R3	7	2	9	6	0	6	15
R4	7	1	8	3	2	5	13
合計	43	14	57	22	7	29	86

約3割は町内の人が
購入・賃貸しています



特集

空き家バンクで、
民家を活かす

過疎化や高齢化とともに、全国的に課題となっている「空き家」問題。管理ができずに朽ちてしまう危険な空き家の増加が懸念されている一方、コロナ禍で田舎への移住希望者の増加するなど、空き家への需要も高まってきています。空き家を「売る」「借す」、空き家を「買う」「借りる」あなたの選択肢に「空き家」を加えてみませんか。

空き家や危険空き家など
まずは役場に相談してください

空き家を放置していると、さまざまなリスクが生じます。特に、今後は法改正により土地の固定資産税の軽減措置を受けられなくなる対象が拡大されるほか、相続登記ができていない場合は10万円の過料が科されることがあります。

利活用が難しい空き家は、所有者が適正に管理するか取り壊していただくようにお願いします。また、近隣で危険な空き家の情報があれば商工観光課までご連絡ください。

商工観光課 定住・空家対策室 ☎82-0670



商工観光課
中本 昌宏

私も空き家バンクで
家を購入しました

主な移住・定住支援制度

- 若者住宅新築応援金 50万円
若者・子育て世帯が町内に居宅を新築する場合に応援金を支給
- 若者住宅取得応援金 30万円
若者・子育て世帯が町内の中古物件を購入する場合に応援金を支給
- 空き家活用支援事業
空き家期間が概ね6か月以上の一戸建ての住宅を改修する工事費や移転費などを補助【兵庫県事業】
- 町内定住就職奨励金 5万円
町内に住民票のある新規学卒者が、事業所に就職した場合に支給

他にも子育てや就農支援など、さまざまな補助があります



■空き家は全国的な課題
人口減少や高齢化率の上昇とともに「空き家」が全国的に問題となっています。佐用町でも、5年に一度実施される「住宅・土地統計調査」では、空き家数は1140件(平成30年調査時)となっており、その数は今後ますます増加していくことが予想されます。

■空き家を放置すると
放置された空き家は、家の中に風が通らないため、柱が腐りやすい状態となり、老朽化を加速させてしまいます。もし、倒壊などで人にけがをさせたり、隣接する家屋を傷つけたりすると、賠償責任を問われることもあります。

また、放置された状態が長引くと、不法侵入や盗難、放火などの犯罪に利用されたり、動物の棲みかになったりするなど、近隣住民にも迷惑がかかります。

このように空き家を放置することはさまざまなリスクがあります。

あるため、所有者は早めの対処が必要です。

■空き家バンク制度
町では、空き家を活用した移住・定住のお手伝いとして「空き家バンク」制度を設けています。空き家バンクとは、空き家を売りたい人が物件を登録するだけでなく、買いたい人も登録することで、その人の条件に合った物件の情報を提供でき、スムーズに売買ができる制度です。

これまでに、100件以上の空き家物件が登録され、86世帯が購入・賃貸しています。また、近年は町外からの移住者だけでなく、町内の人の利用も増えています。

■移住・定住を支援します
定住支援制度として、若者・子育て世代が町内の中古物件を購入した場合に町から30万円を支給するなど、さまざまな応援金や補助金があります。



移住を 勧める

地域と移住者をつなげる



移住希望者に空き家物件を紹介
合同会社 佐用鹿青年部
山本 敏弘さん

今まで佐用町の魅力を町外にPRする活動をしていましたが、これからは町内のために何かをしたいと思い、商工会の有志で、空き家物件を紹介する「佐用にきて一な」を始めました。今では、年間約60組の移住を希望する人に物件を紹介しています。

移住を考えている人は「田舎でゆっくりしたい」と思う人が多いのですが、実際の田舎は、良くも悪くも都会より人付き合いが多いんですよね。でも、移住してもらうからには、地域の人とも仲良くしてもらいたいと思っているので、そこはちゃんと事実を話します。そういった『地域と移住者のコーディネーター』ということも意識しています。

これからは、移住してきた人が、私たちに代わって佐用の魅力を移住希望者に伝えていってもらえるような活動につながっていけばと思っています。

佐用町定住・観光促進のための滞在型体験事業

佐用にきて一な

佐用町で“田舎暮らし”を考えている人に、無料で田舎を体験してもらえるプランを用意しています。親族や知人など、佐用に移住を考えている人に紹介してください。



地域おこし協力隊の定住促進コーディネーターとして、主に移住を希望する人に空き家バンクに登録された物件を案内しています。また、前職での動画制作の経験を活かして、空き家物件や制度を動画で紹介し、移住情報を発信する活動もしています。

9か月前に佐用町に来たときは、見知らぬ土地で不安だらけでしたが、実際に住んでみると、出会う人みなさんが温かく迎え入れてくださり、充実した生活を送れています。この「人の温かさ」が、佐用町の一番の魅力だと実感しています。

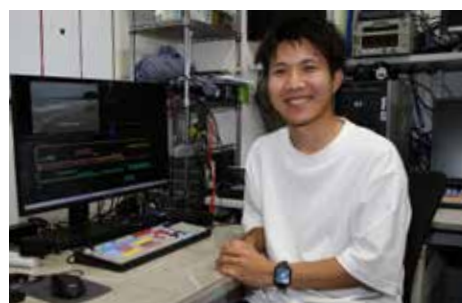
今後は、みなさんに温かく受け入れていただいた恩返しに、空き家の紹介を含めて佐用町の魅力を動画で発信していきたいと思っています。



◀空き家物件や移住情報を発信する
YouTubeチャンネルを開設しました
『らくやで！佐用』

空き家の魅力を 発信

動画で佐用の魅力を発信



地域おこし協力隊
定住促進コーディネーター
友藤 祐平さん

空き家を 買う

佐用は子育てに最適な町



平福の空き家を購入し、パン屋を開店
マリニ ロベルト ヒデオ 夫妻
梓

田舎暮らしとパン屋を開きたい夢があって移住先を探していたところ、佐用町の空き家バンクのホームページから今の物件を見つけました。

移住するには、物件も大切ですが、一番ベースにしていたのは子育ての環境。その点、佐用町は空気がきれいでのどかなので、申し分なかったです。また、行政の子育て支援が他の自治体より充実していたことも決め手の一つになりました。実際に住んでみると、地元の平福地域のみなさんもとても良くしてくれて、移住して良かったと思っています。

夢の一つであったパン屋も開店することができました。まだまだ勉強中ですが、自家製の天然酵母にこだわってパンを作っています。平福に住み、お店を出してみてもっと平福の町全体がにぎわってくれればと思っているので、私たちも少しでも何かお手伝いになれるようがんばっていきます。



子どもがのびのびと成長できる環境に満足しています



自家製の天然酵母でパンを作っています

定年まで教師として佐用町の多くの子どもたちと関わってきました。妻の実家が神戸で、親の介護もあったので、定年後は移住する計画をしていました。

家を手放すにあたり、空き家バンクの存在を知り、役場に相談しました。相談してわかったことなのですが、土地の売買には複雑な手続きが必要でした。しかし、行政が運営する空き家バンクなので、安心してお任せすることができました。売れなければどうしようかと思っていましたが、役場の協力もあって、登録後すぐに買い手が見つかりました。

次に住む人たちに気持ちよく住んでもらおうと、神戸に移住してから空き家バンクに登録するまでの半年は、月に数回佐用に帰り、家の片付けや掃除をする日々でした。今思えば、長く住んでいた家の片付けをすることが『終活の一環』となりました。

私が大切にしてきた家を、次の家主さんにも大事にしてもらえたらうれしいですね。

空き家を 売る

『終活の一環』となった



空き家となった家を売却
長田 浩二さん

あの日を忘れず
語り継ぐ



「上月行燈祭り」では、追悼の気持ちを込めて約250基の行燈が灯されました

平成21年8月9日

佐用町を襲った台風第9号災害から14年――

風化させずに安心安全なまちを

死者・行方不明者合わせて20人など、町内にかつてないほどの甚大な被害をもたらした平成21年台風第9号災害から、8月9日で14年が経ちました。

同日には、千種川と佐用川の合流地点に作られた復興ひろば（久崎）で献花が行われ、庵途典章町長は「亡くなられたみなさまに対して、改めて哀悼の誠を捧げ、心からのご冥福をお祈りいたします。そして、また再びこのような悲しみを誰もが受けることのないような、安心で安全なまちづくりに努めていきます」と決意を新たにしました。

また、災害で兄家族4人が帰らぬ人となった井上英一さん（伊丹市）は「風化させてほしくない」という思いで献花した。この

災害を教訓に、早めの避難など、自分自身で命を守る行動をとってほしい」と話しました。



亡くなられた人への鎮魂のために作られたモニュメント



モニュメント前に献花する（左から）浅野教育長、庵途町長、江見副町長



発生した災害に意見を出し合いながら対応策を考えました



災害対応を経験した職員からアドバイスを受けました



対応記録を時系列で残して共有します

災害対応の教訓を継承する

役場はこれまで、阪神淡路大震災が起こった1月17日に防災訓練を行っていましたが、職員の防災意識を一層高めようと、今年は平成21年災害が起こった8月9日に職員の災害対応訓練を行いました。

訓練では、災害発生時の対策本部運営を想定した図上訓練を実施。次々に発生する被害への対応を、災害当時を知る幹部職員が中堅職員や若手職員に指導しました。今年入庁した居合かがりさん（税務課）は「災害発生時の行政の役割を知ることができた。町内の地名と場所をすぐに一致できないという自分の課題もわかったので、今後の業務に活かしたい」と思いを新たにしていました。

また、訓練を視察した島根県庁の藤井鉄也防災危機対策監は「災害対応を経験した職員が若手職員に教えることで、教訓を継承できる」とも完成された訓練。

来年も参加して、本県の防災にも活かしていきたい」と話しました。

平穏な一年が確認できる日

上月歴史資料館前では、亡くなられた人への鎮魂と未来への希望を込めた「上月行燈祭り」が開催され、日の入りとともに約250基の行燈が灯され、和紙から漏れる柔らかい光が会場を包み込みました。

また、他にも上月地域づくり協議会のかき氷のプレゼントや、ステージイベント、お楽しみ抽選会などが行われ、多くの人が会場を訪れました。

主催した皆田和紙保存会の藤田京子さん（上上月）は「今年で8回目の開催。このイベントが開催できるということは、今年一年、佐用町に何事もなく過ぎせたという証しでほっとします」と町に大きな災害がなく、平穏に過ごせた一年を振り返りました。

日本の交通ルールを学ぶ

日本語学校交通安全教室



実践しながら警察官から交通ルールを学びました

佐用日本語学校は、たつの警察署の協力で8月2日に交通安全教室を開催しました。

日常生活で自転車を利用するというイン・ミン・タントさん（ミャンマー）は「母国と日本の交通ルールは違うので、教えてもらえて勉強になった。これからは交通安全に気を付けます」と誓いました。

清流千種川の恵みを知る

三河地域で千種川の清流を守る催し



鮎に翻ろうされながら、なんとかつかみ取りができました

三河地域づくり協議会は、千種川の清流を守ろうと、水生生物の実態調査や鮎のつかみ取りなどを行う催しを7月30日に三河ふれあいセンターで開催しました。

鮎のつかみ取りに参加し、千種川の恵みを体で感じた敏森一綺くん（漆野）は「めっちゃ楽しかった」と目を輝かせていました。

間伐材から佐用の山を学ぶ

佐用の間伐材学習&ものづくり



佐用の間伐材を使って本棚を作りました

図書館は、7月30日に夏休み体験教室「佐用の間伐材学習&ものづくり」をさよう文化情報センターで開催しました。

参加者は、山林の管理が行き届いていないと災害が発生する可能性が高くなること、そのため間伐が有効であるという身近な問題に、真剣に耳を傾けていました。

ひまわり祭りのフィナーレ

南光ひまわり祭り花火大会



夜空に浮かぶ大輪の花火が約2,500人を魅了しました

南光ひまわり祭りの最後を飾る花火大会が7月30日に南光スポーツ公園で開催されました。

今年のみまわり祭り期間中は、記録的な猛暑が続きましたが、2週間で約4万人が訪れ、多くの人を楽しませました。町が宣言した『幸せの黄色いまち佐用町』。あなたのもとには、黄色いひまわりが幸せを運んで来てくれましたか？

4年ぶりの地蔵盆がにぎわう

田此日限地蔵尊夏大祭



佐用出身の大道芸人「たらちゃん」が観客を魅了しました

田此日限地蔵尊奉賛会と三日月地域づくり協議会は「田此日限地蔵尊夏大祭」を8月23日に開催しました。

奉賛会総代の阿部幸弘さん（田此）は「久しぶりの開催で人が来てくれるか不安だったが、にぎわってよかった」と多くの人が行き交う様子を見て顔をほころばせていました。

平松武者踊りが復活の狼煙

平松納涼祭で7年ぶりに武者踊りを披露



急ぎょの参加にも体に染みついた踊りは忘れていません

平松武者踊り保存会は、7年前を最後に休止している県無形民俗文化財の「平松武者踊り」を、8月13日に平松納涼祭で披露しました。

同保存会の春名時和会長は「4年に1度の開催も、担い手不足の影響で前回は開催できなかった。復活を目標にこれからも活動していきたい」と伝統文化の継承へ意気込んでいました。

デジタル世代には朝飯前？

子ども体験くらぶ「プログラミング講座」



思いどおりにセンサーライト制御ができました

夏の体験くらぶ「センサーライトをマイコン制御（プログラミング）しよう！」が、8月9日にさよう文化情報センターで開催されました。

講師の竹田一成さん（口長谷）の丁寧な説明のおかげもあり、参加した子どもたちは初めて体験するプログラミングをすぐに使いこなし、得意気な表情を見せていました。

つながりで互いを支える

人権文化講演会&ふれあいシネマ



阪神大震災の経験談から、支え合う大切さを教わりました

人権文化をすすめる町民運動推進会議は、7月29日にさよう文化情報センターで「人権文化講演会&ふれあいシネマ」を開催しました。

講演会で、講師の生田周司さん（（公財）県人権啓発協会）は「地域のつながりが希薄化している。お互いが支え合いながら共に生きる社会を実現してほしい」と話しました。



文化で彩る中秋の名月 第29回 観月の夕べ

中秋の名月に合わせて「観月の夕べ」を開催します。名月に合わせた演芸や作品展示、お茶席を用意して、お待ちしております。

- 日時 9月29日(金) 開演 午後6時
- 場所 さよう文化情報センター
- 入場料 無料(お茶席 一席100円)
- 主催 町文化協会

学び 高年大学 特別公開講座 私たちの「姫新線」を 見つめ直してみませんか？

高年大学の特別公開講座を実施します。どなたでも参加できますので、私たちの町や姫新線の将来を一緒に考えてみませんか。

- 日時 9月21日(土) 午前10時
- 場所 さよう文化情報センター
- 演題 鍛冶屋線をなくした町の言伝ことづて
～姫新線を廃線にしないためにできること～
- 講師 小嶋明さん(からくさ塾主宰)
- 入場料 無料



◀姫新線や鍛冶屋線のごことは、広報さよう令和4年12月号をご覧ください。



学びの泉

人権、スポーツの結果(町体協把握分)、生涯学習課 生涯学習推進室 イベント開催などの情報をお届けします ☎82-3336

ホール イベントを裏で支える ホールボランティア スタッフを募集します

舞台の裏側がどうなっているか、のぞいてみたいありませんか？町では、コンサートなどのイベントで活躍できる、ボランティアスタッフを募集しています。

- 内容 受付、客席案内、音響照明操作、会場アナウンスなど
- 条件 18歳以上の人(高校生不可)



詳しくは、生涯学習課までお問合せください。

芸術 佐用の秋を芸術で彩る 第42回佐用郡美術展 作品募集



- 展示
 - 日時 11月16日(土)～19日(日) 午前9時～午後5時 (19日は午後3時まで)
 - 場所 さよう文化情報センター
- 作品募集
 - 応募部門 日本画・洋画・書・写真・工芸
 - 応募資格 15歳以上(中学生は不可)
 - 作品受付 11月11日(土) 午前11時～午後3時
 - 場所 さよう文化情報センター
 - 出品料 無料
 - 応募制限 1部門につき、1人2点まで(ただし、写真は1点のみ)

※出品規定など、詳しくはお問合せください。

図書館

今月の新着図書から司書がおすすめする3冊を紹介します

新着本情報



『ロンドン大学歴史学者の「歴史のなぜ」がわかる世界史』
 ▶著者 グレグ・ジェンナー
 ▶出版 かんき出版

「歴史上の時代はだれが命名した？」など、イギリスの歴史学者でキャスターでもある著者が子どもたちから集めた質問に答える。



『素晴らしき哉、80代』
 ▶著者 帯津良一
 ▶出版 ワニ・プラス

80代は私にとっての黄金期と語る現役医師が、老化に楽しく抵抗する自分流の養生、後半生の体力、知力などの考え方を伝える。



『レンタルなんもしない人の"やっぱり"なんもしなかった話』
 ▶著者 レンタルなんもしない人
 ▶出版 晶文社

「レンタルなんもしない人」というサービスを行っている著者が受けた、2022年度の依頼話をまとめる。

Library info

☎82-0874
 開館時間 午前10時～午後6時
 月曜日・祝日休館

9月、10月の休館日
 ●9月11.17～29(館内整理のため)
 ●10月2.3.9.16.23.30.31

図書館からのお知らせ

図書館の仕事を体験しよう

「小学生一日図書館員」募集

図書館の本が貸し出され、返却されるまで、どんな仕事があるのか、図書館の仕事を体験してみませんか。

- 日時 11月5日(日) 午前9時30分～午後3時
- 対象 町内の小学5、6年生
- 定員 2人(応募者多数の場合は抽選)
- 内容 図書などの貸し出し、返却など
- 参加費 無料
- 申込み 10月22日(土)まで図書館で申し込みを受け付けます。



おはなし会

■ボランティア 「あそばせ隊」

- 対象 幼児・小学生
- 日時 毎週土曜日 午後2時～2時30分



■図書館司書

- 【小さい人(5歳以上)】
 - 日時 毎週日曜日 午前10時30分～11時
 - 9月のおはなし 「おだんごばん」「ふくろにいれられたおとこのこ」
- 【大きい人(小学3年生以上)】
 - 日時 毎週日曜日 午前11時～11時30分
 - 9月のおはなし 「物語または長編絵本」



健康カレンダー

もの忘れ・心のケア相談など

場所：町保健センター

月日	内容	時間
9/21 10/5	デイ・ケア (精神障がい者社会復帰訓練事業)	13:30～15:30
9/14	こころのケア相談 (要予約)	13:30～
9/14	アルコール相談 (要予約)	13:30～

健康福祉課 健康増進室 ☎82-0661

場所：町生きがいづくりセンター

月日	内容	時間
9/28	がんサロン・さよう(予約不要) がんピアサポート (個別相談・要予約)	14:00～16:00

はまなすの会 ☎079-277-2764
健康福祉課 健康増進室 ☎82-0661

場所：龍野健康福祉事務所

月日	内容	時間
10/6	こころのケア相談 (要予約)	13:00～15:00
9/26	エイズ・肝炎相談 (要予約)	13:00～15:00
10/10	HIV・肝炎ウイルス検査 (要予約)	

龍野健康福祉事務所 ☎0791-63-5687

赤ちゃんとお母さん

場所：町保健センター

月日	内容	時間
9/25	4か月健診 (R5.5月生)	対象者に郵送でお知らせします。
9/28	すくすく健康相談 (R5.1月・2月生)	

場所：さよう子育て支援センター

月日	内容	時間
9/11	0歳児教室 (7か月～1歳未満)	9:50～11:00
	0歳児教室 (2か月～6か月児)	10:20～11:30
9/20	3歳健診 (R2.4月～5月生)	対象者に郵送でお知らせします。

健康福祉課 健康増進室 ☎82-0661

休日救急当直医 9月

月日	医療機関名	電話番号
9/10	佐用共立病院	82-2321
9/17	尾崎病院	77-0221
9/18	佐用共立病院	82-2321
9/23	佐用中央病院	82-2154
9/24	岡本医院	88-0605



生活改善へのヒントに

「健康づくりセミナー」を開催します



健康に過ごすことは、人生を豊かに生きるために欠かせません。経験豊富な講師の話
を聞き、生活習慣改善へのヒントをつかみ、実践につなげましょう。

日時	内容	講師	場所
9月25日① 午後1時30分～	腰痛予防運動の実践 「脊柱管狭窄症のリハビリ」	佐用中央病院 理学療法士 反橋浩二さん	役場本庁舎 西館2階 防災会議室
10月23日② 午後1時30分～	糖尿病性腎症の重症化予防 「糖尿病を知って上手に付き合おう」	赤穂市民病院 診療部長兼内科部長 高原典子医師	
11月6日③ 午後1時30分～	【郡栄養士会協賛事業】 糖尿病の食事療法の実際 「フレイルも予防する献立の工夫」	管理栄養士 高島和子さん	
令和6年 1月25日④ 午後2時～	40歳を超えた女性の健康づくり 「更年期を軽やかに過ごすために」	ウィメンズクリ ニックかみむら 上村茂仁医師	
令和6年 2月15日⑤ 午後1時30分～	オーラルフレイル予防 「いつまでもおいしく食べるために」	佐用共立病院 歯科 松本昌大医師	

どなたでも参加することができます。参加する人は健康福祉課にお申込みください。定員になり次第締め切ります。(先着25人)

健康福祉課 健康増進室 ☎82-0661

column

地域包括支援センターだより

9月は認知症への理解を深める月間です



町地域包括支援センター
☎82-2079

「国際アルツハイマー病協会」は、世界保健機関(WHO)と共同で、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」と定めています。

認知症は誰もがなり得る「脳の病気」です。2025年には65歳以上の約5人に1人が認知症になると言われています。家族や地域の人などの身近な人が、認知症を患うかもしれません。そこで、認知症の人に接するときの7つのポイントを紹介します。

- ① まずは見守る
- ② 余裕をもって対応する
- ③ 声をかけるときは1人で
- ④ 後ろから声をかけない
- ⑤ やさしい口調で
- ⑥ おだやかに、はっきりとした話し方で
- ⑦ 本人の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する

これらの相手に寄り添う接し方は、認知症に限らず、円滑にコミュニケーションを取るためにも役立ちます。お互いに思いやりをもって、安心して暮らせる町にしましょう。

menu 栄養士の食育献立メモ 今月の献立

町栄養士おすすめメニュー 枝豆チーズおにぎり



忙しい朝でも手軽にたんぱく質を摂れるおにぎりです。ぜひ作ってみてください。

【材料(2個)】

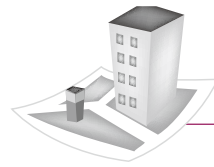
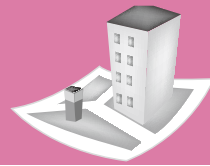
ごはん	300g
プロセスチーズ	2個
枝豆	20さや
しらす	20g
塩昆布	6g
白ごま	小さじ1
めんつゆ	小さじ2
(ストレート)	

【作り方】

- ① チーズを角切りにする。
- ② 枝豆を温めて、さやから出す。
- ③ ごはんに①と②とAの材料を入れて混ぜ合わせる
- ④ ③を2等分してにぎる

栄養価(1個)

エネルギー 335kcal 塩分 1.4g たんぱく質 12.3g



仲間と一緒に楽しく健康寿命を延ばそう

「頭と体の健康教室」参加者募集

monthly information

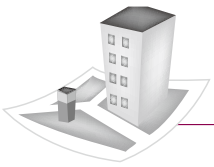


心 身ともに元気に生活できるよう、町では「頭と体の健康教室」を開講します。仲間と一緒に「読み・書き・計算」の脳のトレーニングや、「いきいき百歳体操」をして、もの忘れ予防や体力維持をする楽しい教室です。

- **日時** 10月10日④から
翌年3月19日④までの毎週火曜日
午前9時30分～10時45分
- **場所** 生きがづくりセンター
- **内容** 専用のテキストを使った頭のトレーニング
(個別学習)、いきいき百歳体操
- **対象** 軽い体操ができる町内の65歳以上の人で、
ご自身で会場へ来ることができる人
- **定員** 20人程度(初めての人を優先します)
- **費用** 月額2,200円(テキスト代)
- **申込み** 9月29日⑤までに、電話でお申し込みください。



問 地域包括支援センター(高年介護課) ☎ 82-2079



予約殺到の大好評につき追加で募集します

第2回スマートフォン講座を開催します

monthly information



高 齢者向けに開催した第1回目の初心者向けスマートフォン講座は、好評につき全ての日程で満席となりました。満席後も多数の問い合わせがあったため、第2回目の講座を開催します。すぐに予約が埋まる可能性があるため、お早めに申し込みください。

- **開催日時**
【1回目】10月10日④
【2回目】11月10日⑤
いずれも午後1時30分～3時
※講習内容は同じです。
- **開催場所**
町役場第1庁舎本館101会議室
- **講習内容**
・電話やメール、カメラの使い方
・インターネット検索
・二次元コードの使い方 など
- **対象者**
町民であればどなたでも可
- **対象者**
各日ともに10人(先着順)
- **参加費**
無料
- **申込み**
各開催日の1週間前までに電話でお申し込みください。



問 情報政策課 情報推進室 ☎ 82-0690

新型コロナワクチン接種

「秋開始接種」のお知らせ

9/20(水)～



◆接種券を順次発送しています

以下のすべての条件を満たす人に、順次接種券を送付しています。

- ① 初回接種(1・2回目)以上の接種を終了している。
- ② 12月15日時点で、12歳以上である。
- ③ 12月15日時点で、前回接種から3か月以上が経過している。

◆接種予約はご自身でお願いします

「春開始接種」と同様に、集団接種は行いません。接種を希望する人は、町内の医療機関に直接電話で予約をしてください。医療機関の連絡先など詳しくは、接種券に同封しているチラシをご覧ください。また、町外の医療機関で接種を希望する場合は、希望する医療機関にご相談ください。

◆予約するときの注意点

予約するときは、必ず以下のことを確認して予約してください。

- ① 予約する接種日時点で12歳以上かどうか。
※11歳では、受けるワクチンや医療機関が異なります。
- ② 予約する接種日時点で前回接種から3か月が経過しているか。

◆新たなワクチンの使用を予定しています

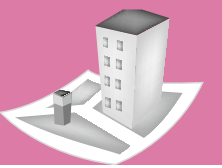
今回はこれまでのワクチンとは異なり、現在流行の主流となっているオミクロン株派生型「XBB」に対応したワクチンを使用する予定です。ワクチンは、ファイザー社製とモデルナ社製があります。

◆生後6か月～11歳までのワクチン接種

生後6か月以上の人でも初回接種を終えていればワクチン接種を受けることができます。接種を希望する人は、ご連絡ください。

問 健康福祉課 新型コロナワクチン接種対策室

☎ 82-3030



公共施設の入場料が無料になる「西播磨レインボーカード」を交付します

西播磨地域在住の65歳以上を対象に、公共施設への入場が無料になる「西播磨レインボーカード」を交付します。

- 対象施設 姫路城、姫路市立美術館など22施設



詳しくはこちら (町ホームページ)

- 利用期間 毎年9月1日～30日 (高齢者福祉月間) ※既にお持ちの人は、継続して使用できます。
- 申込み 高年介護課または各支所、出張所

問 高年介護課 高年介護室 ☎82-2079

9/21(水)～30(金) 秋の全国交通安全運動

9/30(金)は「交通事故死ゼロをめざす日」です

- 推進テーマ
 - ・みんなでつくる 通学路の交通安全
 - ・思いやる 気持ちで守る 高齢者
 - 運動の重点項目
 - ①子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
 - ②夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶
 - ③自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
- 法令やマナーを守り、交通事故防止につとめましょう。

問 企画防災課 防災対策室 ☎82-0664

施設の大規模改造に伴い

上月支所を仮移設しています

- 仮移設先 上月文化会館1階
 - 移設期間 令和6年3月末まで(予定)
 - その他
 - ・上月文化会館 通常通り、毎週火曜日から日曜日に開館します。
 - ・町教育支援センター 上月文化会館2階研修室に仮移設しています。
- 問 上月支所 地域振興室 ☎86-0331

百歳バンザイ

100歳の誕生日を迎えたかたを紹介します。今月は大正12年7月生まれのかたです。

- 清水 定夫さん (乙大木谷)



おめでとうございます 長年にわたり、社会、公共に力を尽くしたかたを紹介します。

日身体障害者団体連合会 会長表彰

西坂越次さん(上町) 【町身体障がい者福祉協会会長】



長年にわたり、障がいのある人の福祉向上のためにご尽力いただきました。

警察庁警察協力章

横山弘介さん(山平) 【さよう地域ふれあいの会連合会会長】



長年にわたり、警察と協働して地域の防犯活動にご尽力いただきました。

兵庫県知事表彰 (優良いずみ会リーダー)

鞍田貞子さん(廣山) 【町いずみ会】



長年にわたり、食育活動などを通じて住民の健康づくりにご尽力いただきました。

知りたい! 伝えたい! 地域おこし協力隊

第56回

今号の隊員 肥後橋 亮多朗



「おひたし」か「ステーキ」にして食べるのがおすすめです

今回は佐用で大切に育てられてきたナス「佐用むらさき」を紹介いたします。佐用むらさきは、石井地区で安本文男さん(奥海)が交雑を防ぎながら何代も種取りをされてきた丸ナスのような種類で、果実に対して種が少なく柔らかいのが特徴です。

佐用町で地域おこし協力隊として活動している以上、ぜひ自分で作ってみたいと、帰農塾の木村英先生(宗行)に教えてもらい、今年から栽培にチャレンジしています。これまでに学んだ農業の経験から、農薬を使わず栽培することで株が強くなり、ナスらしい味わいになると考えて生育しました。

少し病気になるったり虫に食べられたりして出荷できないものもありましたが、収穫したものを食べてみると、肉質がきめ細やかで上品な味わいでした。

収穫した「佐用むらさき」は、味わいの里直売所、プチマルシェ、旬彩蔵などで販売していますので、ぜひ一度、賞味ください。

Pick up さようマラソン参加者&ボランティアスタッフ募集



●日時 12月10日(日) 午前8時45分 開会

●会場 三日月中学校

●募集種目

- ①ハーフマラソン(21.0975km)、10km
- ②3km(中学生・一般の部)、小学生の部(1km)、ファンラン(1km)

●参加費①3,000円 ②1,000円

町民限定割引 参加費が半額になります

→①1,500円 ②500円

※ランネットからの申込みは割引適用できません。

●申込み

生涯学習課、各支所、出張所、上月体育館でお申し込みください

●申込締切 10月10日(日)

■ボランティアスタッフを募集しています

ランナーや大会運営をサポートするボランティアスタッフを募集しています。一緒に大会を盛り上げてみませんか?詳しくは生涯学習課までお問合せください。

問 生涯学習課 生涯学習推進室

☎82-3336

令和5年度 町県民税・保険料 納期一覧表 期限内の納付をお願いします。

■町県民税 問 税務課 町税対策室 ☎ 82-0662

税目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
固定資産税	納期限 1期 5/1			2期 7/31					3期 12/25		4期 2/29	
町県民税 (普通徴収)	納期限		1期 6/30		2期 8/31		3期 10/31			4期 1/31		
軽自動車税	納期限	全期 5/31										

■国民健康保険税、後期高齢者医療保険料 問 住民課 年金・保険室 ☎ 82-0660

税目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国民健康保険税	納期限			1期 7/31	2期 8/31	3期 10/2	4期 10/31	5期 11/30	6期 12/25	7期 1/31	8期 2/29	
後期高齢者医療保険料 (普通徴収)	納期限			1期 7/31	2期 8/31	3期 10/2	4期 10/31	5期 11/30	6期 12/25	7期 1/31	8期 2/29	9期 4/1

■介護保険料 問 高年介護課 高年介護室 ☎ 82-2079

税目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険料 (普通徴収)	納期限			1期 7/31	2期 8/31	3期 10/2	4期 10/31	5期 11/30	6期 12/25	7期 1/31	8期 2/29	

個人情報のため非公開

お誕生おめでとう

名前 保護者 行政区

7月11日から8月10日届出分(敬称略)
戸籍上の漢字が表記できない場合があります

戸籍の窓口

11人のうごき

8月10日現在()内は前月比

人口	15,246人 (-27)
男	7,345人 (-15)
女	7,901人 (-12)
世帯数	6,814戸 (-12)

出生	7人	死亡	25人
転入	16人	転出	25人

個人情報のため非公開

名前

年齢

行政区

お悔やみ申し上げます

募集

invite information

誰かのこころのSOSに気付けるのはあなたです

こころの健康づくり講演会

心身ともに追い込まれてしまうことは、誰にでも起こり得る命の危機であり、特別な人だけの問題ではありません。

かけがえのない命を守るために、私たちに何ができるか、ともに考える講演会です。ぜひご参加ください。

●日時 10月21日㊤
午後1時30分～3時30分

●場所 南光文化センター
2階大ホール

●参加費 無料(申込不要)

●講師 梅田靖規さん
(神戸ダルクヴィレッジ代表理事)

問 健康福祉課 健康増進室
☎ 82-0661

因幡街道三宿の魅力を再発見
モニターツアー参加者募集

かつて因幡街道の宿場町として栄えた平福宿、大原宿(美作市)、智頭宿(智頭町)が連携して、それぞれの魅

編集後記

今年の夏は、各地の夏祭りを取材させていただきました。盆踊りって、こんなに良いものだったんですね。世代を越えて受け継がれ、多世代と一緒に参加でき、帰省した人の元気な姿や成長した姿を喜び——田舎のコミュニティづくりには欠かせない伝統文化がそこにはありました。来年はどこかの夏祭りでも同じ輪の中に入れてください㊤

力を再発見し、地域の活性化を図るためのモニターツアーを開催します。

① 大原宿ツアー

●日時 10月7日㊤
●参加費 3,000円(昼食付)
●コース 宮本武蔵生誕地、大原本陣など

② 智頭宿ツアー

●日時 10月28日㊤
●参加費 4,000円(昼食付)
●コース 杉神社、石谷家住宅、諏訪酒造など

ツアーの詳細は、町ホームページをご確認ください。



■申込み 大原観光交通㈱
☎ 0868-78-2315

問 町観光協会(商工観光課内)
☎ 82-0670

西はりま障がい者雇用促進の集い 就職面接会

障がいのある人の採用を検討している事業者が一堂に会した面接会を開催します。

●日時 9月27日㊤
午後1時30分～4時

●場所 ホテルモンテレ姫路
完全予約制のため、ハローワーク龍野で紹介状の交付を受けてください。

問 ハローワーク龍野
☎ 0791-68-2431

身近な問題をプロに相談
法の日無料相談会

●日時 9月30日㊤
午前10時～午後3時

●場所 ① 咲ランド2階セントラルコート(宍粟市)
② 龍野経済交流センター2階セミナー室(たつの市)

●相談内容 相続、遺言、土地・建物等の登記、官公署への手続き、相続税・贈与税等に関する問題の相談

●相談員 司法書士、税理士、行政書士、土地家屋調査士

●申込み 不要

問 県土地家屋調査士会西播支部
☎ 0790-64-7077

その他

others information

マイナンバーカード
休日受付を実施

●日時 9月10日㊤
午前9時～午後3時

●場所 役場本庁 住民課

問 住民課 戸籍住民相談室
☎ 82-0660

献血にご協力を

●日時 10月3日㊤
午前9時30分～11時30分
午後0時45分～3時30分

●場所 役場第1庁舎西館

問 健康福祉課 子育て・福祉室
☎ 82-0661

夏祭

コロナ禍で人の集まりが制限されていたなか、4年ぶりに各地で夏祭りが開かれました。子どもたちのにぎやかな声、大人たちの熟練の盆踊りなど、田舎の夏らしい風景が見られました。



高瀬舟まつり



平松納涼祭



長谷地域ふるさと祭り



上長尾納涼盆踊り大会



平福納涼祭



新宿納涼祭り



日限地藏尊夏大祭



延吉盆踊り大会